

みんなの力がもたらす変革

スワプナ・マジウムダール（インド）

インド・ウッタール・プラデーシュ州ジャーンシー県のカジャラハ・バジヨル村では、発展が遅れ周縁化されたコミュニティの女性 400 人以上が結束し、村から酒店を完全に無くすことを目指して過去 4 年間にわたり活動をしてきました。

普段このコミュニティでは、家の外に出ている女性の姿や声を見聞きすることはほとんどありません。それを考えると、女性たちによるこの活動は至難の業だと言えます。この村では、多くの女性が 2008 年によく第一歩を踏み出しました。女性のエンパワーメントと貧困緩和を目標に掲げ活動しているラジブ・ガンジー財団の女性開発支援計画 (RGMVP) からの援助を受け、自助グループを結成したのです。彼女たちの自信が増すにつれて初めは 1 つだったグループ数は 4 年間で 40 グループにまで増え、各グループには 10~15 名の女性メンバーが所属しています。そして 2012 年、これらのグループは自らの権利に対する意識に目覚め、また極度の貧困から家族を救いたいという思いで、当時の最大の問題である「アルコール依存症」に正面から向き合うことを決意したのです。

「アルコール依存症は深刻な問題です。グループ・ディスカッションでは、あるメンバーの夫が、お酒の購入に充てるために妻の持ち物である宝石類を換金したという話を聞きました。私たちが自助グループのミーティング会場に向かう途中でも、男性が道端で飲酒する姿をよく見かけました。彼らはその度に私たちをなじり、私たちは身の危険さえ感じました。それで、こんなことはもう終わりにしようと思いついたのです。つまり、村にある 4 つの酒店を閉店に追い込むことを決意したのです」こう語ったのはデヴィ・マタ自助グループの会長であるミーラさんです。

興味深いことに、この決断を最も支持してくれたのが、酒店を営む男性の妻や母親たちでした。ナンディニさんは酒店の店主の妻ですが、夫に店をたたむよう説得を試みたものの、同意を得られなかったということです。「私は自助グループのメンバーです。たとえ夫に逆らうことになるろうと、私は他の女性たち同様、閉店させることを望みました。同じ自助グループのメンバーでもある私の義母も、支持してくれています」とナンディニさんは言っています。

しかし、自助グループのメンバーたちは、自分たちだけの力でこの目標を実現させることは難しいと分かっていました。そこで 40 の自助グループで構成する村全体の組織の会合を開き、出席した 400 人以上の女性によって酒店の閉店を求めることを決議しました。

これを受け、酒店を経営する男性たちに対する働きかけと、閉店の要請が行われました。しかし、それでも効果が無かったため、40 名の女性代表グループが 12km 離れた最寄りの警察署に徒歩で出向き、苦情の申し立てと酒店の閉店の要求をしました。これに続き翌日には、反アルコール・キャンペーンの一環として女性たちは決起集会を開きました。

「私たちは警察署の前でデモも行いました。私も義母と共に参加しました。自分の夫が経営する店に対して抗議の声を上げるのですから、義母の後押しは非常に重要です」とナンディニさんは言っています。

「意識向上トレーニングのおかげで、私たちはいかにして自らの権利を要求すべきかを学びました。もし暴力に訴えたなら、さらなる暴力の応酬をもたらすということも悟りました。しかし警察に訴えることは、法に則った行為です」と村の自助グループ組織の代表のミーラさんは語っています。

彼女たちの熱意にほだされ、警察も翌日には動かざるを得なくなり、酒店を閉店させました。

その後数日間は、ミーラさんを含む数人の女性が脅迫を受け、緊張感に満ちていました。しかし、女性たちはある計画を用意していました。集団行動が持つ力を実感した彼女たちは、50人でトラクターに乗り、県長官に面会に行ったのです。事前にアポイントメントを取っていなかったにもかかわらず、県長官との面談がかない、そこで村から酒店を排除する確約を得ることができました。

しかし、彼女たちの活躍はとどまるどころを知りません。村から酒店を排除した状態を保つには、酒店を経営していた男性に手を差し伸べ、社会復帰の支援をする必要があることを認識していたのです。そこで、酒店経営者が再出発できるよう、その妻たちに対して自助グループが融資を行いました。

「私は5,000ルピーを受け取りました。夫はそれを利用して小さな商店を始めました。今では主にここからの収入で生計を立てています。おかげで二人の子供を私立学校に通わせることができました。夫が二度と酒店を経営しなくてよくなり、私たちはとても幸せです」とナンディニさんは語ってくれました。



アルコール依存症の脅威に力を合わせて立ち向かった女性たち